

報告タイトル (* 日本語と英語両方ご記入ください)

習近平の終わりなき軍事改革: プリンシパル・エージェント問題と中国の党軍関係
“Xi Jinping’s Endless Military Reforms: The Principal-Agent Problem and the Party-
Military Relations in China”

氏名 (所属)

林 載桓 (青山学院大学)
LIM Jaehwan (Aoyama Gakuin University)

要旨 (800 字程度)

本稿の目的は、習近平政権下で進行している軍事改革を中国共産党と人民解放軍の関係に焦点を当てて分析することである。本稿では、プリンシパル・エージェント理論を中国の事例に適用し、軍事改革の動機、政策プロセスの特徴、そしてその不均衡な帰結について一貫した説明を試みる。具体的には、中国の党軍関係において「過剰な権限委任」と「外部監視の欠如」という二つの制度的問題が存在し、これが一連の改革を促した要因であることを指摘する。習近平による近年の改革は、主に前者の問題に焦点を当て、戦闘能力の強化に重点を置いた大規模な組織再編を実現した。しかし、外部監視の欠如という問題に関しては、成果は極めて限定的である。このように改革が異なる帰結をもたらした背景には、軍に対して個人的な支配を確立させようとする習近平の意図がある。党軍関係の個人化が進めば、軍の統制を長期的に不安定化させる可能性がある。